

全国の自治体で初！

—最新の IT・AI 技術で障がいのある人の日常生活を支援します

当市は「互いに人格と個性を尊重し共に暮らす柏崎」を目指して、障がいのある人の社会参加促進の取り組みを進めています。このたび、国立病院機構新潟病院にご協力をいただき、最新の IT・AI 技術を活用した日常生活用具の給付を開始します。

今後も最新の IT・AI 技術を活用した日常生活用具の給付を行うことで、障がいのある人の情報アクセス・コミュニケーション支援、社会参加の促進を進めていきます。

1 日常生活用具給付事業の概要

障害者総合支援法に基づく事業で、障がい者の生活の質の向上と介護者の介護負担軽減などのため、障がい特性に応じたさまざまな生活用具を給付する事業です。給付を行う用具や金額は、市町村によって異なります。

2 給付する日常生活用具

(1) ジェスチャインタフェース

脳性麻痺や筋ジストロフィー、脳の損傷によって運動機能に障がいがある人のわずかな体の動き（ウインクや口の開閉、指の折り曲げなどのジェスチャ）を、3D 距離カメラを利用し、専用ソフトウェアで PC 入力や電化製品の操作を可能とするものです。



国立病院機構新潟病院資料より

(2) 視覚障害者用装着型音声読書器（AI 支援デバイス）

メガネに装着した AI 搭載の小型カメラが目の前の文章を撮影して音声で読み上げることで、視覚障害のある人がこれまで困難であった文字情報へのアクセスが可能となります。新聞、本、レストランのメニューなどの印刷物やスマートフォンなどの液晶画面の文字を読み上げます。



(株)アイメディア「元気カタログ」より

3 セールスポイント

障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の公布により、障がいのある人の情報アクセスやコミュニケーション手段の整備が進む中、全国で初めて、また、県内初となる最新技術を搭載した生活支援用具を導入しました。